

## 第2章 倉吉市の現状と課題

本章では、将来目標の設定や将来都市構造、全体構想を明らかにするための前提として、上位・関連計画による都市の位置づけや倉吉市の特性と問題点、市民の意向等を整理したうえで、都市計画の観点から都市整備上の課題を抽出します。

1. 上位・関連計画の整理
2. 倉吉市の特性と問題点
3. 市民の意向
4. 都市整備上の課題の整理

# 1. 上位・関連計画の整理

将来目標を設定するにあたり、都市計画に関連する上位計画及び関連計画について、まちづくりの方向性を整理するとともに、主要プロジェクトの進捗状況を整理します。

## (1) 上位計画

### ① 第11次倉吉市総合計画【後期基本計画】（平成28年3月 倉吉市策定）

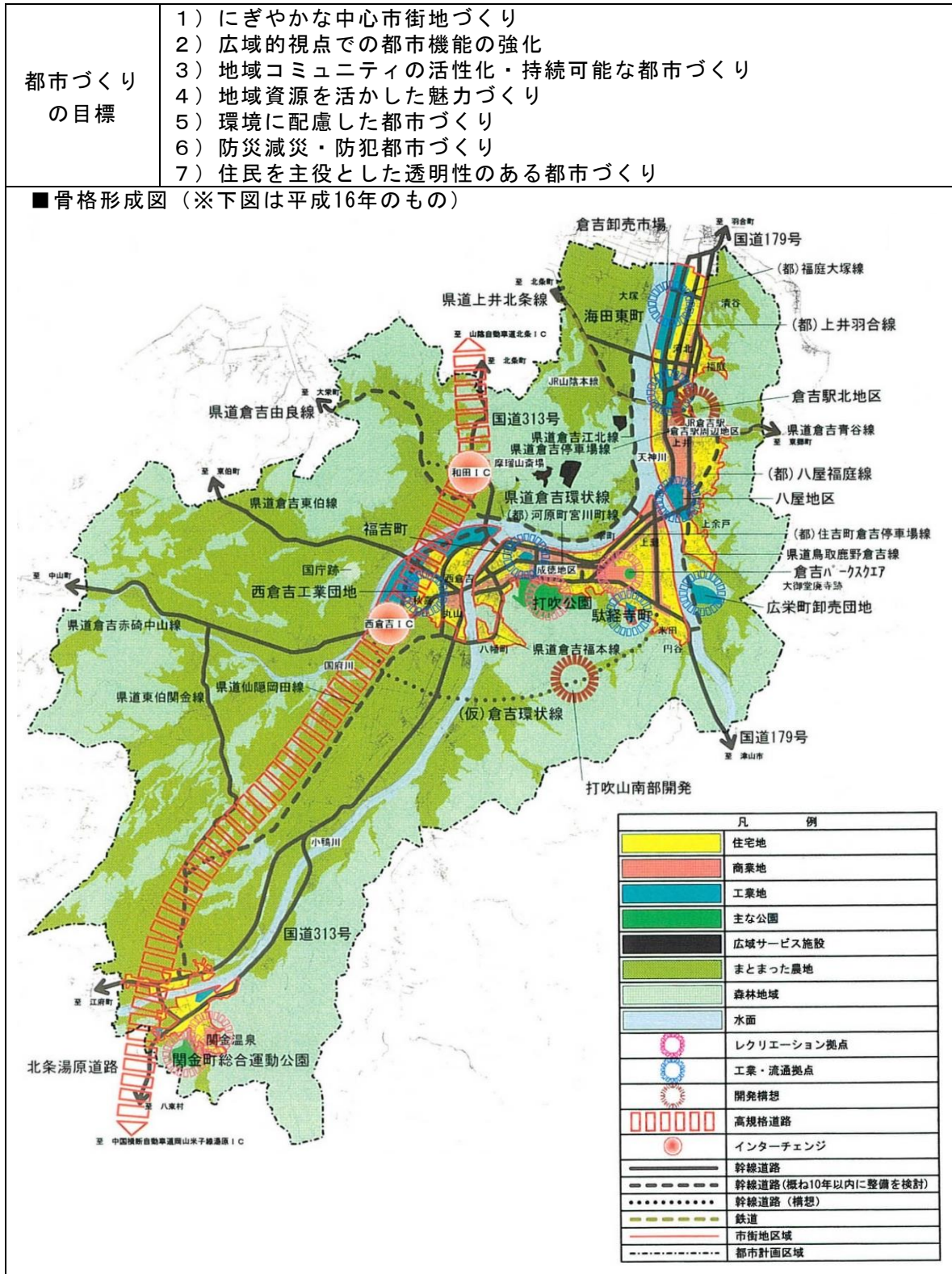
計画期間	平成28（2016）年度～平成32（2020）年度
将来都市像	愛着と誇り 未来いきいき みんなでつくる倉吉市
まちづくりの基本姿勢	<ol style="list-style-type: none"> <li>わたしたちみんなが主役のまちづくり</li> <li>倉吉らしさを大切に守り活かしたまちづくり</li> <li>選択と集中を基調としたまちづくり</li> </ol>
基本目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>いきいきと働くことができるまち【産業】                     <ol style="list-style-type: none"> <li>新たな時代を切り拓く、活力ある農林水産業を振興する（農林水産業）</li> <li>より多くの所得を生み出せる、ものづくり産業の基盤を整える（製造業）</li> <li>市内外からより多くの人たちと消費をまちに引き込む（商業・観光・サービス）</li> </ol> </li> <li>いつまでも健やかに過ごせるまち【福祉・健康・人権】                     <ol style="list-style-type: none"> <li>子どもを産み、育てる喜びを実感できるまちをつくる（子育て）</li> <li>自分らしくいきいきと過ごせるまちをつくる（福祉）</li> <li>だれもが健康で安心して暮らせるまちをつくる（健康）</li> <li>お互いを認め、尊重し合えるまちをつくる（人権・男女共同参画）</li> </ol> </li> <li>活力に満ち、豊かな心と文化が息づくまち【教育・文化・コミュニティ】                     <ol style="list-style-type: none"> <li>次代を担う子どもたちの確かな学力と豊かな人間性を育む（教育）</li> <li>だれもが生涯にわたって、いきいきと学べる環境を整える（文化・スポーツ）</li> <li>みんなが常日頃から協力し、助け合える関係をつくる（コミュニティ）</li> </ol> </li> <li>安全・安心で快適に暮らせるまち【生活基盤・環境・防災】                     <ol style="list-style-type: none"> <li>だれもが愛着を感じ、住み続けたいと思えるまちをつくる（生活基盤）</li> <li>みんなで地球環境にやさしいまちをつくる（環境）</li> <li>災害に強く、犯罪や事故のない、安全・安心なまちをつくる（防災・防犯）</li> </ol> </li> </ol>
土地利用の方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>にぎわいと活力を産み出す市街地の整備</li> <li>豊かな自然環境や優れた歴史文化遺産の保全・活用</li> <li>より安全・安心で快適な暮らしの確保</li> </ol>
目標人口	平成72（2060）年 35,000人

<p>凡 例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存市街ゾーン</li> <li>新市街ゾーン</li> <li>田園集落ゾーン</li> <li>森林自然環境保全・レクリエーションゾーン</li> <li>中心拠点</li> <li>産業拠点</li> <li>生活文化発信拠点</li> <li>歴史文化拠点</li> <li>観光・レクリエーション拠点</li> <li>行政界</li> <li>鉄道</li> <li>河川</li> <li>供用済 整備中 調整中</li> <li>広域幹線道路</li> <li>都市幹線道路</li> <li>地区幹線道路</li> </ul>	<p>■土地利用の方針図</p>
--	------------------

② 倉吉都市計画区域マスタープラン（平成16年5月、現在見直し中）

※倉吉都市計画区域マスタープランは、倉吉都市計画マスタープランと並行して見直し作業を行っているところであり、下記の記載内容は、平成29年10月に地元意見交換会において示された資料から抜粋したものであって、策定の過程で変更となる場合がある。



(2) 主な関連計画

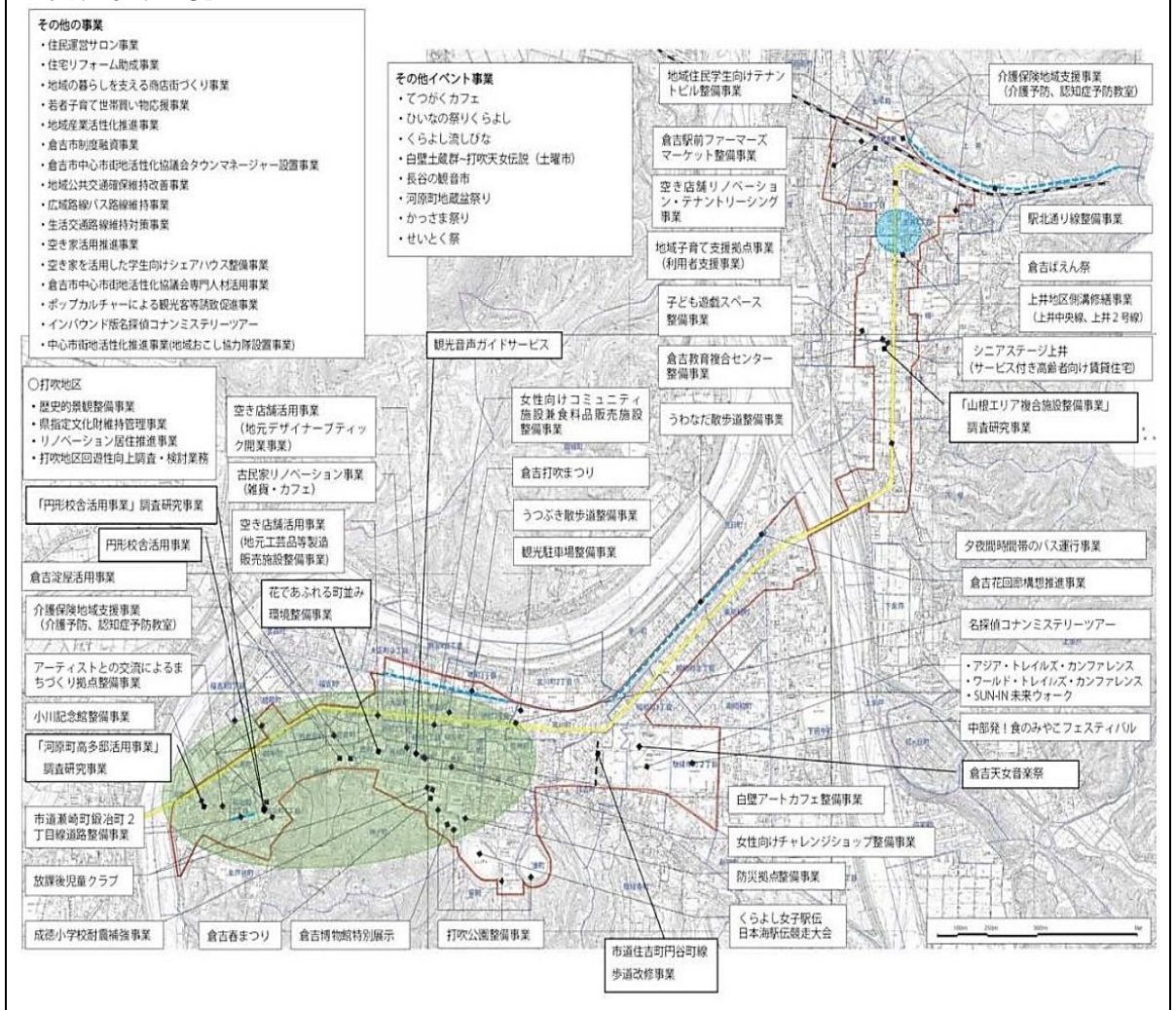
① まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27年10月 倉吉市策定）

計画期間	平成27（2015）年度～平成31（2019）年度
基本姿勢	生涯にわたり「人財」を育み、その「人財」が活躍する地域の創出
基本目標及び施策の方向性	<p>1) 人を大事にし、志を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口の減少に歯止めをかける取組み</li> <li>・年齢、性別に関わらず能力を発揮し活躍する</li> </ul> <p>2) 仕事をつくり、人を呼び、また仕事を呼ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用を確保し、若者を中心に市内に定着</li> </ul> <p>3) 地域を守り、地域資源を活力に変える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・維持、活性化、個性を生かした地域戦略</li> </ul>
目標人口	平成52（2040）年 40,000人、平成72（2060）年 35,000人を維持

② 倉吉市中心市街地活性化基本計画（平成27年7月 倉吉市策定）






計画期間	平成27（2015）年度～平成32（2020）年度
基本テーマ	みんなで作る活気とにぎわいの場、暮らしよい元気な中心市街地
基本的な方針	<p>①安全・安心で快適に暮らせる生活中心のまちづくり</p> <p>②生活文化の薫る歴史的な街並みを活かした観光・交流拠点のまちづくり</p> <p>③都市型産業の育成やビジネス創出へとつながるまちづくり</p>
目標	<p>目標1：誰もが持続的に住みたく暮らしやすい生活環境を備えたまち</p> <p>目標2：歴史的・文化的資源を活かした回遊型観光のまち</p> <p>目標3：小規模でも高付加価値な事業活動を創出するまち</p>

■実施事業一覧



## (3) 都市計画上の主要なプロジェクトの進捗状況

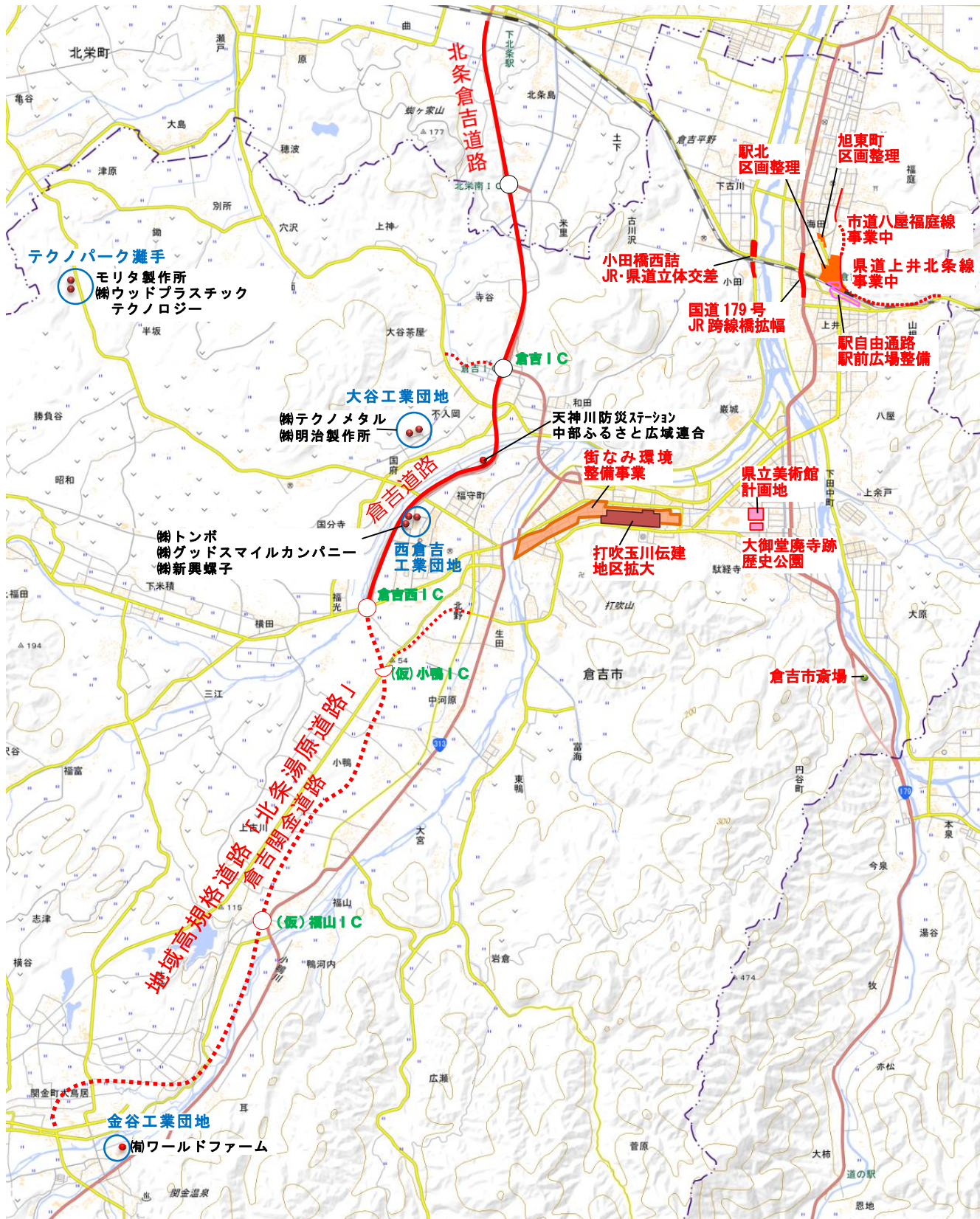
都市計画上の主要なプロジェクトの事業概要と進捗状況は以下のとおりです。

主な施策・事業	整備概要	現在の状況	進捗
倉吉駅周辺整備	<p>駅橋上化や駅前広場整備、地域交流センター、土地区画整理事業など、概ねの事業は平成24年度までに完了しました。</p> <p>現在、県道上井北条線（旧市道駅北通り線）、市道八屋福庭線の整備が進められています。</p>		△ 一部完了
北条湯原道路の整備（倉吉道路、倉吉関金道路）	<p>北栄町から岡山県真庭市に至る延長約50kmの地域高規格道路「北条湯原道路」の一部区間となっています。</p> <p>平成25年6月に倉吉西ICまでを供用しており、現在、福山ICまでの整備が進められています。</p>		△ 一部完了
西倉吉工業団地等への企業誘致	<p>西倉吉工業団地は倉吉西ICまで約3分と好条件に立地していることから、全国でも屈指の優良企業が立地しており、企業用地21.6haのうち20.8haは既に分譲済みです。</p> <p>また、大谷工業団地、テクノパーク灘手、金谷工業団地などへも企業進出が進んでいます。</p>		△ 一部完了
伝統的建造物群保存地区の整備	<p>歴史的な街なみの保存を図るため、平成10年に約4.7haが指定され、平成22年には9.2haに拡大されました。</p> <p>対象地区では保存修理修景事業により建造物の保全を進めています。</p>		△ 一部完了
街なみ環境整備	<p>打吹地区のまちづくり協定が締結された地域等（街なみ環境事業区域）において、修景事業が実施されています。また街路沿いに残る町家と相応したイメージの道路の美装化を行っています。</p>		△ 一部完了
史跡大御堂廃寺跡歴史公園整備	<p>倉吉市街地に立地する山陰地方を代表する最も古く、最大級の初期寺院跡です。</p> <p>現時点では、中心市街地の緑地空間として利用されています。また、隣接するラグビー場に県立美術館の建設が予定されています。</p>		△ 暫定

## 第2章 倉吉市の現状と課題

前頁の都市計画上の主要なプロジェクト及びその他の主要事業の実施位置図は以下のとおりです。

### ■都市計画上の主要なプロジェクト及びその他の主要事業位置図



この地図は、国土地理院発行の5万分の1地形図を使用したものです。